

2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月6日

上場会社名 バルミューダ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6612 URL http://corp.balmuda.com
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)寺尾 玄
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)佐藤 雅史 (TEL)050(3733)9206
 四半期報告書提出予定日 2021年8月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	7,797	—	724	—	708	—	447	—
2020年12月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 448百万円(—%) 2020年12月期第2四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	54.48	53.70
2020年12月期第2四半期	—	—

(注) 当社は、2020年12月期第2四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2020年12月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2021年12月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	9,200	5,669	61.6
2020年12月期	9,113	4,760	52.2

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 5,669百万円 2020年12月期 4,760百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,100	43.8	1,450	10.1	1,435	14.6	931	11.6	113.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年12月期2Q	8,306,000株	2020年12月期	7,735,000株
2021年12月期2Q	—株	2020年12月期	—株
2021年12月期2Q	8,217,592株	2020年12月期2Q	—株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	3
（3）キャッシュ・フローに関する説明	3
（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
（1）四半期連結貸借対照表	4
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	9
（セグメント情報等）	9
（重要な後発事象）	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済を取り巻く環境は、未だ新型コロナウイルス感染症（以下「感染症」という）禍から抜け出せないなか、高齢者からのワクチン接種が本格化し、終息への期待が高まる一方で、感染力が高いといわれる変異株による1月の第3波に続き5月に第4波が押し寄せ、社会経済活動レベルの引き上げと、感染予防とのバランスを警戒する危うい綱渡りが続いています。

当社グループに関連する家電業界においては、一般社団法人日本電機工業会（JEMA）によると、2021年1月から6月における民生用電気機器の国内出荷金額は1兆3,281億円（前年同期比109.7%）となりました。白物家電機器分野における2021年度の国内出荷は2兆4,793億円（前年度比98.2%）と前年度をやや下回る見通しですが、依然として昨年実績を上回る国内出荷金額を堅持しています。在宅時間が増え、多様な新生活様式が定着し、高機能・高付加価値製品に対する消費者ニーズは今後も一定程度継続するものと考えられます。

このような環境のなか、当社グループにおいては、国内向けに「BALMUDA The Toaster（スチームトースター）」と「BALMUDA The Lantern（ポータブルLEDランタン）」のオンラインストア限定カラーを発売し、バリエーションを増やしました。北米においては、新たに「BALMUDA The Lantern（ポータブルLEDランタン）」の販売を開始し、製品ラインナップを拡充しました。

また、コミュニケーション施策の1つとして、TVCMを4月から5月にかけて放映し、BALMUDAブランドの構築及び製品の認知度向上を図りました。加えて、2021年11月以降に予定している携帯端末の販売開始に向け、経営資源を積極的に投入し、開発を進捗させました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、以下のとおりとなりました。

なお、当社グループは前第2四半期連結累計期間については四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っていません。

	(単位：百万円)
	当第2四半期 連結累計期間
売上高	7,797
営業利益	724
経常利益	708
親会社株主に帰属する四半期純利益	447

国内販売については、外出自粛等による家庭内需要に若干落ち着きが見られるものの、感染症禍以前と比較すると「BALMUDA The Toaster（スチームトースター）」や「BALMUDA The Range（オーブンレンジ）」を中心に、依然として高水準で推移しました。さらに、2021年4月から今期生産分の販売を開始した「The GreenFan（扇風機）」についても、一部のカラーはすでに完売の状態になるなど、順調に販売が進みました。

海外販売については、昨年後半から復調してきた韓国に対する輸出環境が以前の状態に戻りつつあることや、昨年発売した新製品（「BALMUDA The Cleaner（ホバー式クリーナー）」「BALMUDA The Speaker（ワイヤレススピーカー）」）の販売拡大等により、売上高及びシェアが伸びました。

(単位：百万円)		(単位：百万円)	
地域別売上高	当第2四半期 連結累計期間	製品カテゴリー別売上高	当第2四半期 連結累計期間
日本	5,468	空調関連	1,849
韓国	1,689	キッチン関連	4,378
その他	640	その他	1,569
合計	7,797	合計	7,797

なお、当社グループは家電事業のみの単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しています。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結累計期間末における資産合計は9,200百万円となり、前連結会計年度末と比べて87百万円増加しました。

流動資産は8,135百万円（前連結会計年度末比166百万円減）となり、これは主に商品及び製品が681百万円増加した一方で、売掛金が526百万円、現金及び預金が411百万円減少したことなどによるものです。固定資産は1,065百万円（前連結会計年度末比253百万円増）となり、これは主に基幹システム及び新製品開発に伴うソフトウェア仮勘定が152百万円増加、建設仮勘定が130百万円増加したことなどによるものです。

(負債)

当第2四半期連結累計期間末における負債合計は3,531百万円となり、前連結会計年度末と比べて822百万円減少しました。

流動負債は3,310百万円（前連結会計年度末比563百万円減）となり、これは主に1年内返済予定の長期借入金が239百万円増加した一方で、買掛金が263百万円、短期借入金が200百万円、未払法人税等が168百万円、未払消費税が154百万円それぞれ減少したことなどによるものです。固定負債は220百万円（前連結会計年度末比258百万円減）となり、これは長期借入金が258百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結累計期間末における純資産合計は5,669百万円となり、前連結会計年度末と比べて909百万円増加しました。これは主に利益剰余金が447百万円、オーバーアロットメント及び新株予約権の行使に伴う新株発行により資本金及び資本剰余金がそれぞれ230百万円増加したことなどによるものです。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は4,040百万円となり、前連結会計年度末と比べて411百万円減少しました。

当第2四半期連結累計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により使用した資金は237百万円となりました。主な獲得要因は税金等調整前四半期純利益の計上708百万円、売上債権の減少527百万円であり、主な使用要因はたな卸資産の増加683百万円、法人税等の支払395百万円、仕入債務の減少262百万円です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は416百万円となりました。主な使用要因は有形固定資産の取得による支出193百万円、無形固定資産の取得による支出160百万円です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により獲得した資金は232百万円となりました。主な獲得要因は株式の発行による収入452百万円です。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の連結業績予想については、2021年12月期第1四半期決算発表時に公表した内容から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,452	4,040
売掛金	2,278	1,751
商品及び製品	1,271	1,952
原材料及び貯蔵品	200	202
その他	99	187
流動資産合計	8,301	8,135
固定資産		
有形固定資産	455	527
無形固定資産	125	280
投資その他の資産	231	257
固定資産合計	811	1,065
資産合計	9,113	9,200

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,476	1,212
短期借入金	300	100
1年内返済予定の長期借入金	367	606
未払法人税等	419	251
賞与引当金	90	78
製品保証引当金	330	379
その他	889	682
流動負債合計	3,874	3,310
固定負債		
長期借入金	479	220
固定負債合計	479	220
負債合計	4,353	3,531
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,149	1,379
資本剰余金	1,146	1,376
利益剰余金	2,462	2,910
株主資本合計	4,758	5,666
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1	2
その他の包括利益累計額合計	1	2
純資産合計	4,760	5,669
負債純資産合計	9,113	9,200

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上高	7,797
売上原価	4,497
売上総利益	3,300
販売費及び一般管理費	2,575
営業利益	724
営業外収益	
受取利息	0
受取配当金	0
雑収入	1
営業外収益合計	1
営業外費用	
支払利息	7
為替差損	8
雑損失	2
営業外費用合計	17
経常利益	708
税金等調整前四半期純利益	708
法人税、住民税及び事業税	226
法人税等調整額	34
法人税等合計	260
四半期純利益	447
親会社株主に帰属する四半期純利益	447

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	447
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	0
その他の包括利益合計	0
四半期包括利益	448
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	448

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	708
減価償却費	143
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	48
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△11
受取利息及び受取配当金	△0
支払利息	7
為替差損益 (△は益)	△8
売上債権の増減額 (△は増加)	527
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△683
仕入債務の増減額 (△は減少)	△262
その他の資産の増減額 (△は増加)	△87
その他の負債の増減額 (△は減少)	△217
その他	1
小計	166
利息及び配当金の受取額	0
利息の支払額	△8
法人税等の支払額	△395
営業活動によるキャッシュ・フロー	△237
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△193
無形固定資産の取得による支出	△160
その他投資による支出	△62
投資活動によるキャッシュ・フロー	△416
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△200
長期借入れによる収入	200
長期借入金の返済による支出	△219
株式の発行による収入	452
財務活動によるキャッシュ・フロー	232
現金及び現金同等物に係る換算差額	8
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△411
現金及び現金同等物の期首残高	4,452
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,040

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年1月14日を払込期日とするオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資による新株式発行(215,200株)により、資本金及び資本準備金がそれぞれ191百万円増加しています。また、新株予約権の行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ39百万円増加しています。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において、資本金が1,379百万円、資本剰余金が1,376百万円となっています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの事業セグメントは、家電事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しています。

(重要な後発事象)

(譲渡制限付株式としての新株式発行)

当社が2021年5月13日開催の取締役会及び同年5月20日開催の取締役会において決議した、譲渡制限付株式としての新株式発行について、2021年7月30日付で払込が完了しました。

新株式の発行の概要

(1) 発行する株式の種類及び数	当社普通株式 7,700株
(2) 発行価額	1株につき6,780円
(3) 発行総額	52,206,000円
(4) 資本組入額	増加する資本金 1株につき 3,390円 増加する資本準備金 1株につき 3,390円
(5) 株式の割当ての対象者及びその人数並びに割り当てる株式の数	当社の従業員 77名 7,700株
(6) 払込期日	2021年7月30日